

# 企業景況調査報告書

(令和3年4~6月期)

## < 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	.....	1
質問2 直面している経営上の問題点	.....	2
質問3 事業再構築への取り組みについて	.....	3
質問4 意見等自由記載欄	.....	4
DI集計結果・分布	.....	5
調査票様式	.....	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2021年4～6月）

## 調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社  
 （建設業 21社、製造業 19社、卸売業 11社、小売業 22社、サービス業 21社、その他 6社）

## 調査方法

各事業所宛にFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

## 調査時期

令和3年7月上旬

## 回収状況

88社（回収率88%） ※前回（1～3月）92社  
 （建設業 20社、製造業 17社、卸売業 8社、小売業 21社、サービス業 18社、その他 4社）

## 全業種における今期の状況は引き続き上昇、来期も上昇する見通し

### <今期の状況>（5ページ表参照）

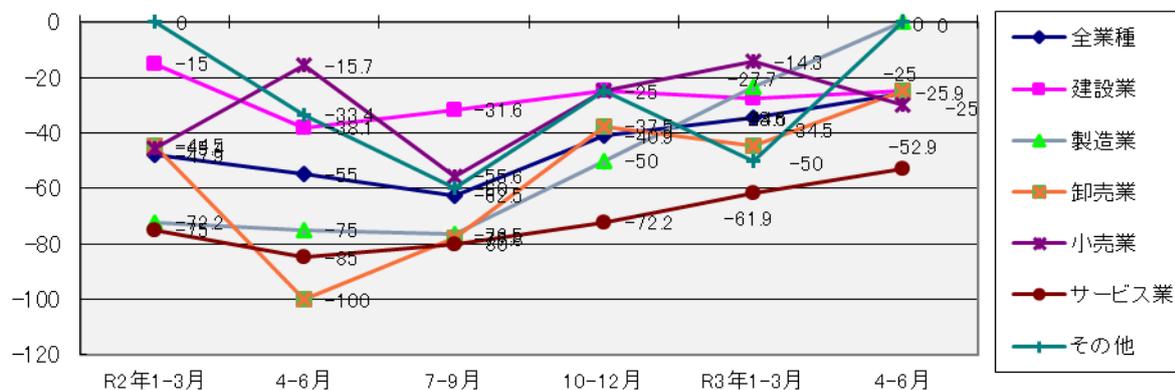
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲34.5から上昇し、▲25.9となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は▲25.0（前期▲27.7）、製造業は0.0（前期▲23.6）、卸売業は▲25.0（前期▲44.5）、サービス業は▲52.9（前期▲61.9）、その他の業種は0.0（前期▲50.0）と5業種で上昇している。一方、小売業は▲30.0（前期▲14.3）、と1業種で下降している状況である。

### <来期の見通し>（5ページ表参照）

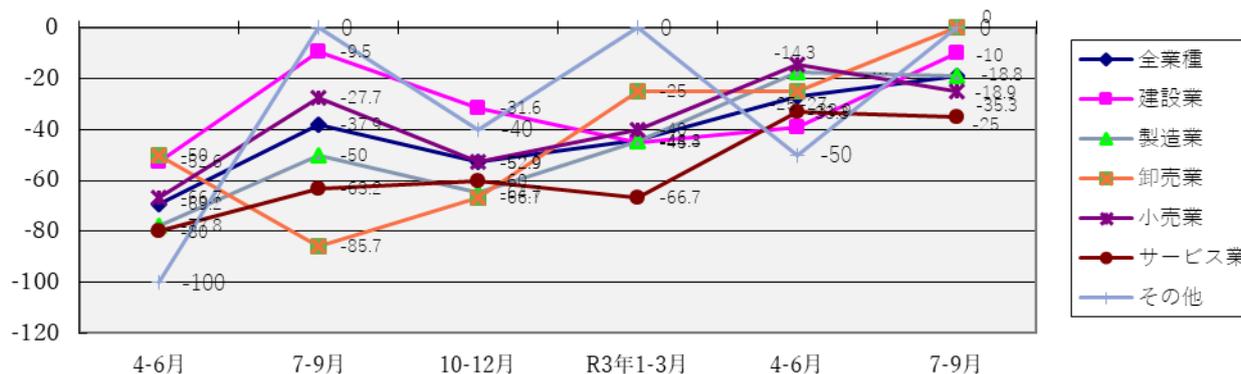
来期の見通し（2021年7～9月）では、全業種のDI値は前期の▲27.0から上昇し、▲18.9となった。業種別に見ると建設業は▲10.0（前期▲38.9）、卸売業は0.0（前期▲25.0）、その他の業種は0.0（前期▲50.0）と3業種で上昇する見通しとなった。一方、製造業は▲18.8（前期▲17.7）、小売業は▲25.0（前期▲14.3）、サービス業は▲35.3（前期▲33.3）と3業種で下降する見通しとなった。前回調査に引き続き、全業種の今期・来期の状況はともに上昇傾向を示した一方で、小売業では今期・来期ともに下降傾向という結果であった。また、経営上における課題として全業種で「売上・受注減少」「消費・需要の停滞」が引き続き上位に挙げられており、コロナによる影響はまだまだ続くことが懸念される。

### <業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

#### (1) 今期の状況 <業種別>



#### (2) 来期の見通し<業種別>



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足  
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少 (55)	消費・需要の停滞 (40)	人手不足 (25)
	前 期	売上・受注減少 (58)	消費・需要の停滞 (36)	人手不足 (24)
建設業	当 期	売上・受注減少 (14)	原材料・仕入価格上昇 (10) 人手不足 (10)	消費・需要の停滞 (6) 利益率低下 (6)
	前 期	売上・受注減少 (12)	原材料・仕入価格上昇 (9)	消費・需要の停滞 (8) 人手不足 (8)
製造業	当 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (6)	人手不足 (5)
	前 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (7)	店舗・生産設備不足・老朽化 (6)
卸売業	当 期	売上・受注減少 (6)	競争激化 (5) 消費・需要の停滞 (5)	原材料・仕入価格上昇 (3)
	前 期	売上・受注減少 (6)	競争激化 (3) 消費・需要の停滞 (3) 原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3)	売上・受注単価低下 (1) 原材料・在庫過剰 (1) 店舗・生産設備不足・老朽化 (1) 人手不足 (1) 利益率低下 (1) 資金繰り難 (1) その他 (1)
小売業	当 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (8)	競争激化 (6)
	前 期	売上・受注減少 (11)	消費・需要の停滞 (9)	競争激化 (5) 人手不足 (5)
サービス業	当 期	消費・需要の停滞 (12)	売上・受注減少 (9)	利益率低下 (5)
	前 期	売上・受注減少 (14)	消費・需要の停滞 (7)	競争激化 (6) 利益率低下 (6)
その他	当 期	消費・需要の停滞 (3)	競争激化 (2) 売上・受注減少 (2) 人手不足 (2) 利益率低下 (2)	経費の増加 (1)
	前 期	売上・受注減少 (3)	消費・需要の停滞 (2) 利益率低下 (2)	売上・受注単価低下 (1) 経費の増加 (1) 人手不足 (1) 代金回収難 (1) その他 (1)

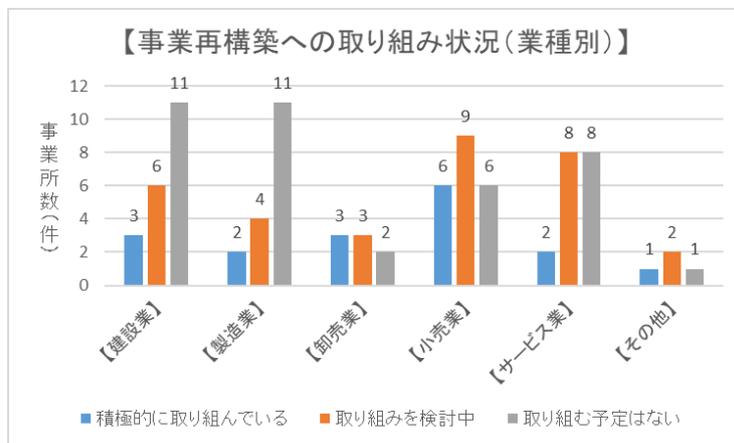
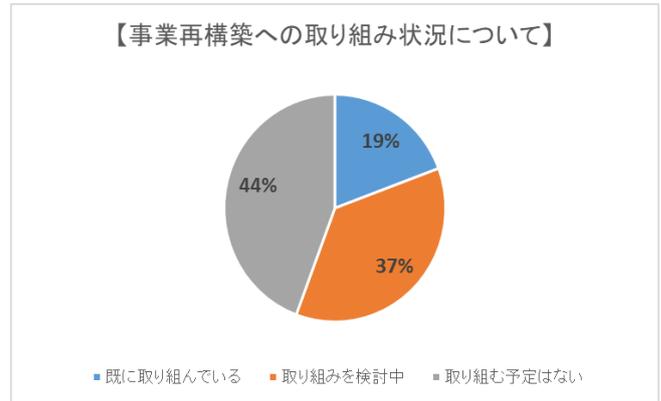
17 その他

- ・コロナの影響
- ・熟練技術者の不足
- ・観光客減少

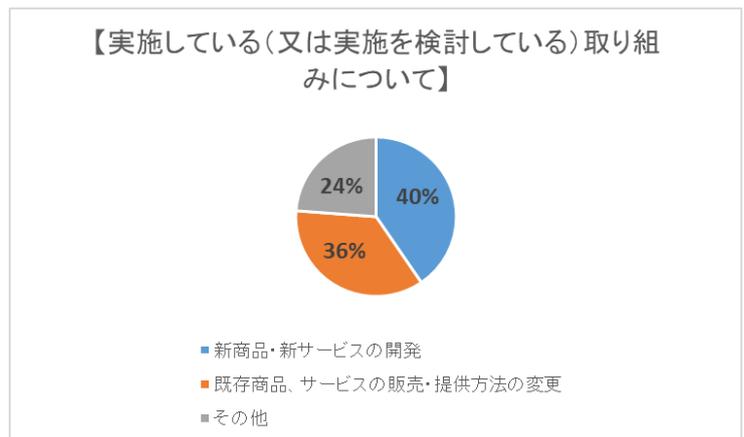
### 質問3 事業再構築への取り組みについて

#### 全体の約6割の事業所が事業再構築に取り組む姿勢

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために、新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編などの思い切った事業再構築に取り組む企業が増加傾向にある。令和3年3月からは、事業再構築に取り組む中小企業等を支援する施策として「事業再構築補助金」が施行されている。それに関連して、現時点における事業再構築への取り組み状況について調査を行った。その結果、「既に取り組んでいる」は19%であり、「取り組みを検討中」と合わせると約6割の事業所が事業再構築に取り組む姿勢を見せる結果となった。業種別にみると、建設業と製造業では「取り組む予定はない」という回答が半数以上挙げられた。



また、「既に取り組んでいる」「取り組みを検討中」と回答した事業所には、実施している（又は実施を検討している）取り組みについても併せて調査を行った。その結果、「新商品・新サービスの開発」が40%、「既存商品、サービスの販売・提供方法の変更」が36%、「その他」（事業再編、未定など）が24%であった。主にホームページを活用した販路開拓、ネット販売の開始などが多い傾向にあった。既の実施中の事業所からは、取り組みによる効果として「売上が増加した」「コロナ禍により受注減少したものの補填として、売上維持に繋がっている」「年10%以上の売上増加を見込んで取組中」等の意見が挙げられた。



#### 質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

##### 【建設業】

- ・ウッドショックにより値上がり分を価格に乗せる事が出来ない。
- ・従業員の高齢化が進み、その方々が退職すると会社の能力が下がってしまう。会社の能力が低下しないよう底上げが必要と思っています。また、新たな人材確保も検討中です。
- ・市発注の公共工事が無いので発注をお願いしたい。ウッドショックの緩和の施策を打ってほしい。

##### 【製造業】

- ・外国人材の入国制限の影響が甚大。

##### 【卸売業】

- ・ドラッグストアの進出で売上が苦しくなります。

##### 【小売業】

- ・1人10万円の支援金の再配布。
- ・コロナ感染予防で接触回避による来店客数大幅減少。コロナ禍での冠婚葬祭の中止等による正装服の着用機会の消失。

##### 【サービス業】

- ・早くコロナ収束を願う。借入金の返済が始まると返済できるのか不安。
- ・コロナの影響によるアンケート等あったら実施してほしいです。今一番してほしい市民の声を聞いてほしいです。
- ・市場減少に伴う売上減が激しい。高齢化。
- ・アフターコロナで観光が再び戻ってくるか不安である。
- ・コロナウイルス感染対策により、地域全体の経済が縮小しているのではないかと心配しております。経済対策をしっかりやっていただきたいと思っています。公共事業も出してほしいですが、出しすぎはネタ切れと消化不良を起こし後で苦しみますので、ほどほどにとも思っています。
- ・コロナがいつまで続くのか、又大雨被害が農家の方にも出ており今後の景気が心配です。

D I 集 計(前年同期比=2021年4~6月期、来期の見通し=2021年7~9月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-22.7	-17.4	4.5	5.8	-33.0	-24.2
製造業	-5.9	-11.8	5.9	-5.9	5.9	-17.6
非製造業	-26.8	-18.9	4.2	8.7	-42.2	-25.7

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.0	-11.6	1.2	1.1	-1.1	1.2
製造業	17.6	0.0	23.5	17.6	-12.5	6.2
非製造業	-14.3	-14.5	-4.3	-2.9	1.4	0.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-25.9	-18.9
製造業	0.0	-18.8
非製造業	-31.9	-18.9

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-22.7	-17.4	4.5	5.8	-33.0	-24.2
建設業	-30.0	0.0	10.0	25.0	-35.0	-10.0
製造業	-5.9	-11.8	5.9	-5.9	5.9	-17.6
卸売業	-25.0	0.0	25.0	37.5	-50.0	0.0
小売業	-42.8	-45.0	-9.5	-10.0	-47.6	-30.0
サービス業	-22.2	-17.6	0.0	0.0	-50.0	-50.0
その他	50.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0
非製造業	-26.8	-18.9	4.2	8.7	-42.2	-25.7

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.0	-11.6	1.2	1.1	-1.1	1.2
建設業	5.0	5.0	10.0	10.0	-5.0	5.3
製造業	17.6	0.0	23.5	17.6	-12.5	6.2
卸売業	-12.5	-12.5	12.5	12.5	-25.0	0.0
小売業	-25.0	-15.8	-25.0	-21.0	0.0	-10.0
サービス業	-33.3	-38.9	-5.5	-5.5	16.7	-5.5
その他	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
非製造業	-14.3	-14.5	-4.3	-2.9	1.4	0.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-25.9	-18.9
建設業	-25.0	-10.0
製造業	0.0	-18.8
卸売業	-25.0	0.0
小売業	-30.0	-25.0
サービス業	-52.9	-35.3
その他	0.0	0.0
非製造業	-31.9	-18.9

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: \_\_\_\_\_ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊫

### 倉吉商工会議所企業景況調査票(2021年4~6月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2021年4~6月)の状況と、今期と比較した来期(2021年7~9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化          | 10 経費の増加    |
| 02 消費・需要の停滞      | 11 人手不足     |
| 03 売上・受注減少       | 12 人手過剰     |
| 04 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下    |
| 05 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難    |
| 06 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難    |
| 07 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出    |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰     | ( )         |

回答欄

1位 \_\_\_\_\_

2位 \_\_\_\_\_

3位 \_\_\_\_\_

【質問3】新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、事業再構築(新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編など)に取り組む企業が全国的に増加傾向にあります。それに関連して以下の質問にご回答ください。

1. コロナ禍以降における事業再構築の取り組み状況について

- ① ( ) 既に取り組んでいる / ② ( ) 取り組みを検討中 / ③ ( ) 取り組む予定はない

2. 【1で①又は②と回答した方】実施している(又は実施を検討している)取り組みについて

- ① ( ) 新商品、新サービスの開発  
(具体的に: \_\_\_\_\_ )
- ② ( ) 既存商品、サービスの販売・提供方法の変更  
(具体的に: \_\_\_\_\_ )
- ③ ( ) その他 ( \_\_\_\_\_ )

3. 【1で①と回答した方】取り組みによる効果についてご記入ください。

[ \_\_\_\_\_ ]

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

\_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。